

経営比較分析表（令和元年度決算）

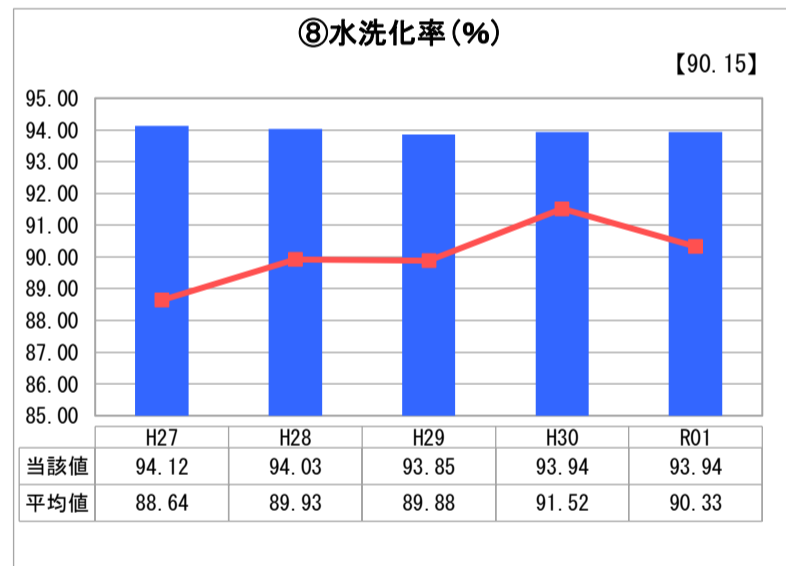
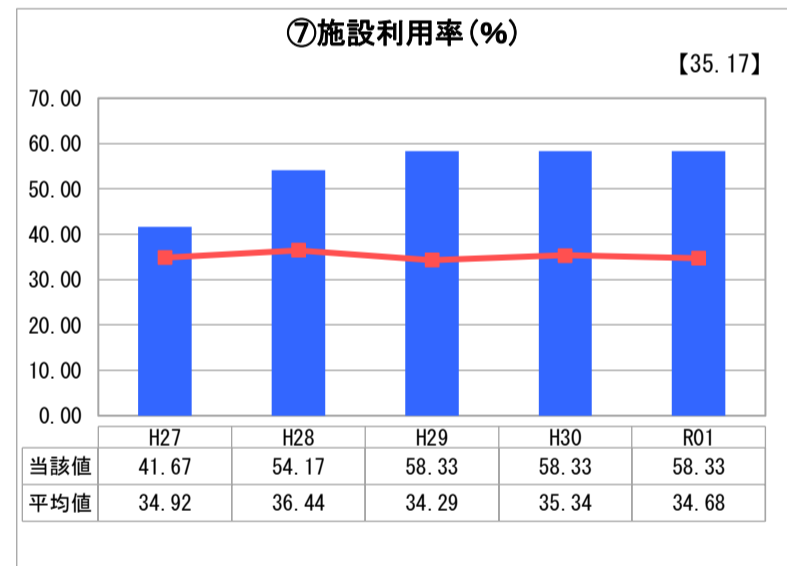
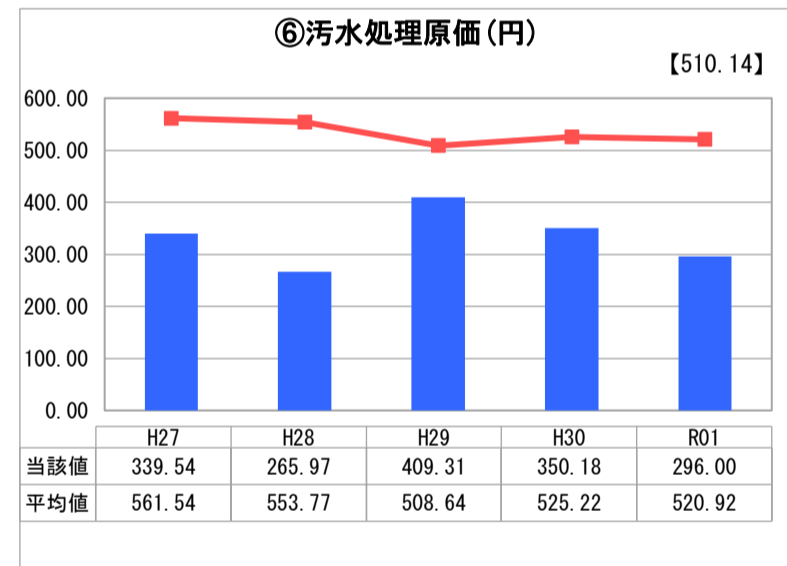
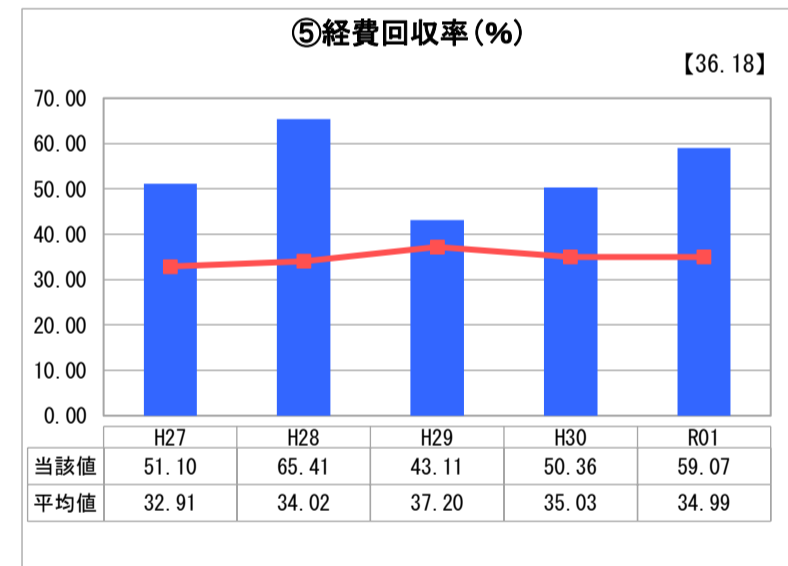
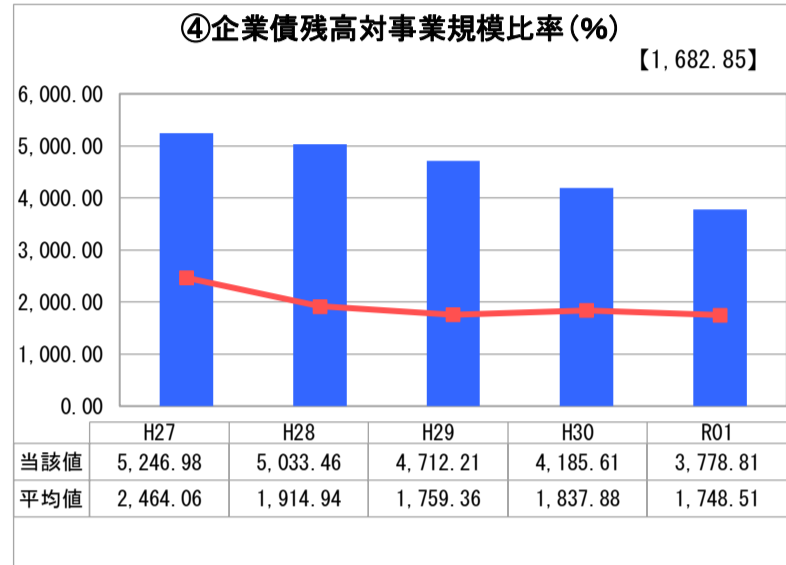
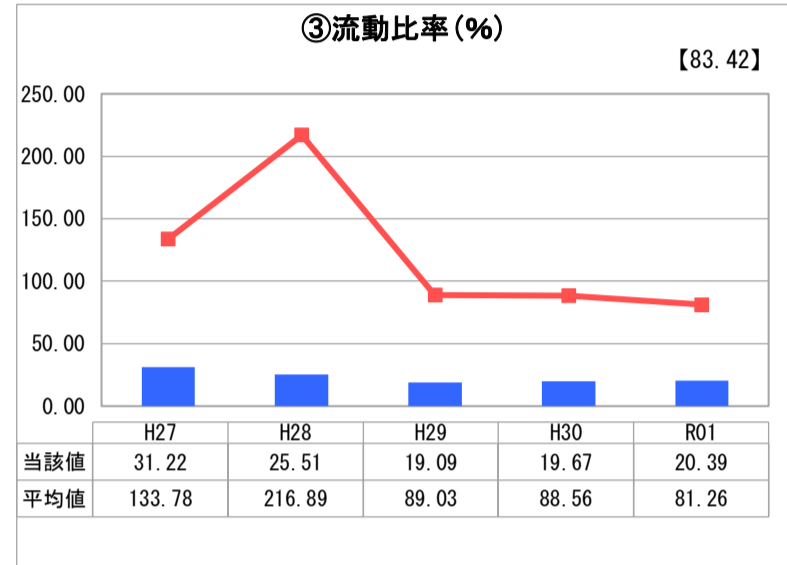
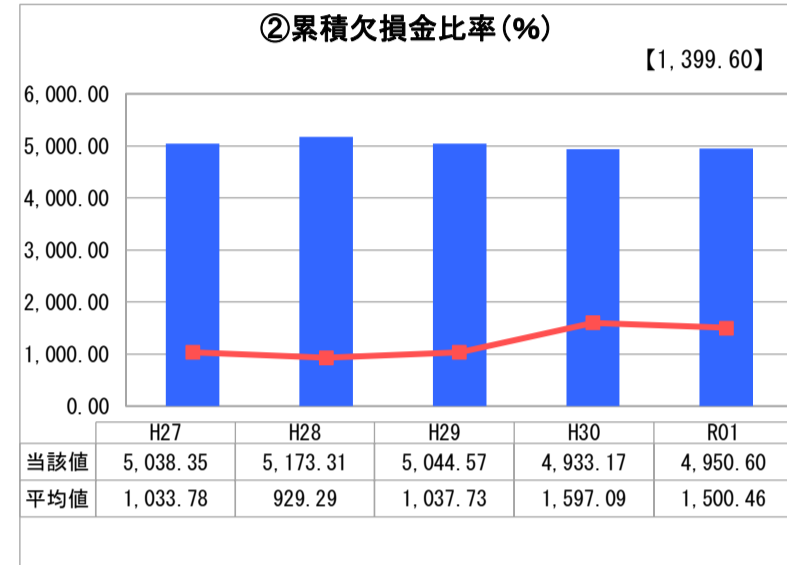
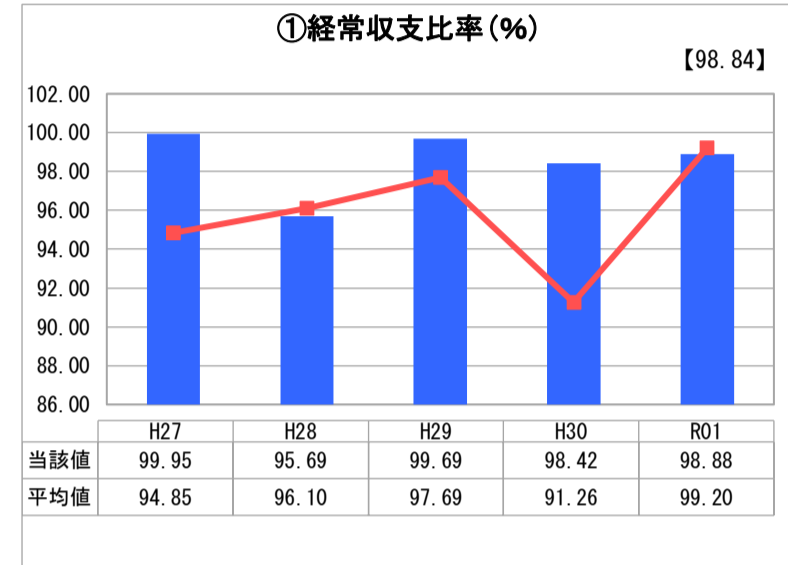
兵庫県 加東市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	小規模集合排水処理	12	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	△5.56	0.16	95.24	3,146

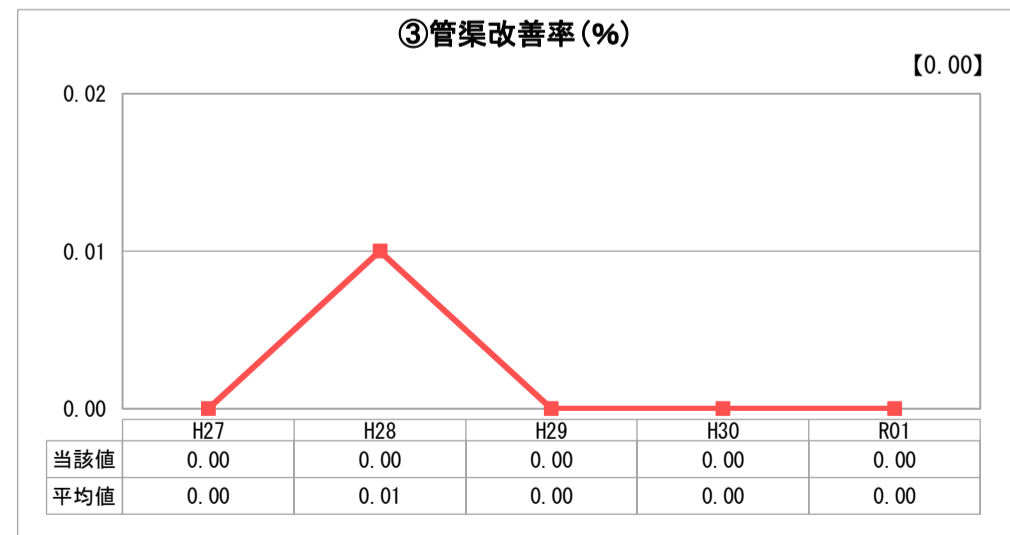
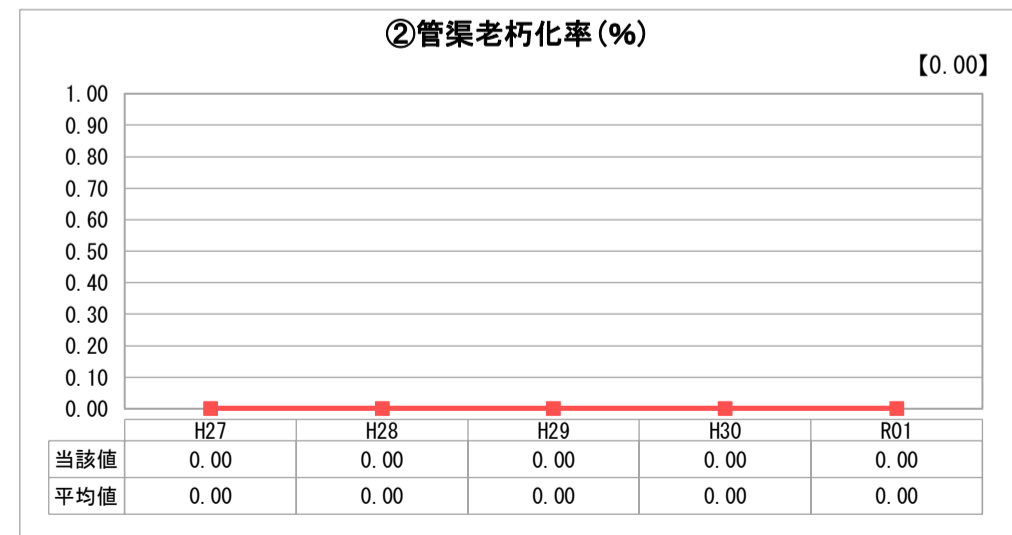
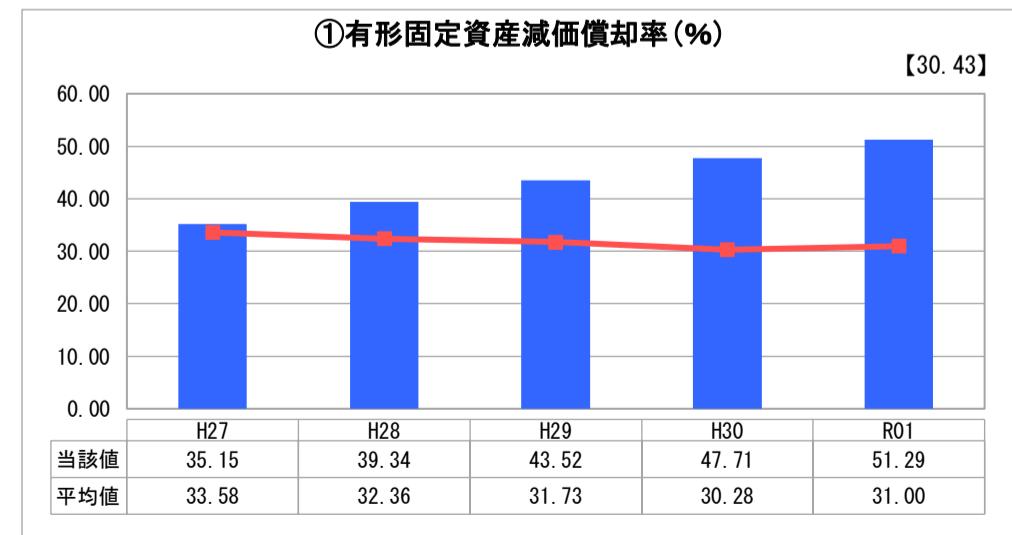
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
40,348	157.55	256.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
66	0.04	1,650.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は類似団体平均を下回っているが、全国平均とほぼ同水準である。下水道事業全体で進めている処理場統合整備事業による公共下水道区域への編入を令和2年度に行い、事業運営の効率化を図る。
 ② 累積欠損金比率は類似団体及び全国平均よりも高い。安定した使用料収入を確保するとともに、下水道事業全体で進めている処理場統合整備事業による効率化を図ることで赤字を解消していく。
 ③ 流動比率は類似団体及び全国平均よりも低い。下水道事業全体で進めている処理場統合整備事業による効率化を図る。
 ④ 企業債残高は新規事業がないため、減少している。処理場統合整備事業を進める中で、対象施設の償還残高は公共下水道事業に移行する。
 ⑤ 経費回収率は類似団体及び全国平均よりも高い。経費削減に努め、さらなる経営の健全化を図っていく。
 ⑥ 汚水処理原価は類似団体及び全国平均より低いが、処理場統合整備事業を進める中で、計画的な投資及び経費削減を行う。
 ⑦ 施設利用率は類似団体及び全国平均と比較すると高い。処理場統合整備事業を進めているため、令和3年度から公共下水道施設として利用する。
 ⑧ 水洗化率は横ばいで推移している。未接続調査による現状把握に努めつつ、水洗化の啓発を行う。

2. 老朽化の状況について

① 類似団体及び全国平均よりも高く、資産全体に対する耐用年数を経過した資産の割合は上昇している。
 ②③ 法定耐用年数を超えた管渠はない。今後の更新需要に備えて、ストックマネジメントを策定し、計画的に改築更新を進めていく。

全体総括

当市下水道ビジョン及び経営戦略に掲げた施策目標「持続」と「リスクの抑制」の達成に向けて、処理場統合整備事業により令和2年度に公共下水道に接続・統合し、事業の効率化を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。